



# きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper vol.21 - **04** 2021 Autumn



「秋の仁田峠」 撮影：早田 浩 氏

## INDEX

- 2 ● ごあいさつ 事務部長 平林智治
- 3 ● 医療連携室 就任のご挨拶
  - 医療を支える人
- 4 ● 診療活動の現況 一腫瘍内科一
- 6 ● 健診センター 脳ドックについて
  - 自分でできるエクササイズ
- 7 ● 医療連携室より
  - 院内“FreeWi-Fi”整備完了
  - 編集後記
- 8 ● 外来診療担当表

## 佐世保共済病院の理念

### 博愛の精神 人の和 自己研鑽

#### 基本方針

1. 私達は、地域のみなさんのニーズに応え信頼してもらえる医療を目指します。
2. 私達は、他の医療機関と共に、地域のみなさんの診療と健康増進に努めます。
3. 私達は、新しい医学、医療の知識と情報を取り入れ、常に自己啓発に努めます。
4. 私達は、それぞれが自己の責任を自覚し安全な診療を目指します。
5. 私達は、病める人の苦しみや喜びを分かち合える心をもって診療に努めます。

〒857-8575 長崎県佐世保市島地町 10 番 17 号 TEL0956-22-5136 (代)

紹介受付専用 FAX (医療連携室) 0120-12-2067 HP <http://www.kkr.sasebo.nagasaki.jp>

急患室直通 FAX ☎0956-22-6052 (代) FAX0956-25-0662 ※休日・夜間のご連絡は、急患室直通の番号でご連絡下さい。



# ごあいさつ

## 事務部長 平林 智治



10月の声を聞いても残暑が続き、ようやく秋めいてきた今日この頃ですが、今年は、5月中旬に早々と梅雨入りし、その期間も2ヶ月に及び、異常に長い梅雨でした。8月中旬には季節外れの豪雨・長雨が1週間以上続き、幸い佐世保地域では、目立った人的被害はなかったようですが、いつもの夏ではありませんでした。九州北部では、特にここ最近、毎年のように、豪雨による水害の被害に見舞われています。また、世界中のあちこちでもこういった異常気象を目にするようになりました。異常気象をもたらす気候変動は、地球温暖化の影響が大きいとされており、今後も頻発することが、予想・危惧されます。

さて、当院では、ここ数年大型（高額）医療機器の更新を中心に、積極的に設備投資を行ってきました。医療機器関連では主なもので、2019年度は8月に診断用X線装置システム、9月に電子カルテシステムの更新を行いました。昨年度は、5月に全身用CT装置、8月に血管造影診断装置の更新を行い、3月にはMRI装置を1台増設いたしました。特に、MRIは、それまで、開業医の先生方から検査の依頼を受けても、長い時で1ヶ月前後お待ちいただくこともあり、大変ご迷惑をおかけしていましたが、2台になったことで、今では、ほとんどお待たせすることも無く、検査診断が行えるようになりました。さらに、施設面におきましても、昨年度7月に北館の受水槽更新工事、9月に自家

発電設備更新工事、3月に北館高架水槽更新工事を実施いたしました。

今年度以降の予定ですが、当院の診療の3本柱の1つである周産期医療をさらに発展させるために、周産期病棟（4階南病棟）の全面リニューアル工事を計画しています。この工事では、患者さんから非常に要望の多い、病室の個室化やトイレの整備を中心に、陣痛室と分娩室が一緒になっている※「LDR」も設置いたします。現在、联合会本部との調整を終えて、「実施設計」に向けて準備中であり、設計が完了次第工事に着手し、来年度中の完成を目指しています。

これからも計画的に設備投資を行うことで診療及び療養環境の整備・充実を図り、地域医療に貢献していきたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

※「LDR」…Labor（陣痛）、Delivery（出産）、Recovery（回復）の略

## コミュニケーションのため方言習得中

医療連携室兼情報システム課 課長 寺田 正輝



はじめまして。2021年8月1日付けで、医療連携室課長に赴任しました、寺田と申します。前勤務先は、同じ共済組合の愛知県にあります名城病院で、事務員として約30年勤務しておりましたが、ご縁がありお世話になることにな

りました。

医療連携室は、今までまったく経験もなく、皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますが、1日でも早く、佐世保共済病院の基本方針にもあります、皆さんの診療と健康増進に努めるための一助となれるよう頑張ります。

まずは、地域の方々とのコミュニケーションのとりやすさを目指し、長崎の方言を取得中です。先

日地元で電話したとき、「よかと」が自然と出てしまいました。順調に取得できていると自負しております。

患者さん、職員の方々とも、気軽に、話やすく、信頼される共済病院の一員になれるよう精進いたしますので、今後ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

## 医療を支える人

### 特定看護師とは

《特定看護師》救急看護認定看護師 急患室師長 乾 広貴

私は、20年以上前から呼吸障害により人工呼吸器を装着した患者さんの管理に携わって来ました。臨床の場で実践している行為の殆どは、経験値に基づいたものでした。人工呼吸器の取り扱いが医行為です。医師からの許可は得ているものの法律と実臨床との乖離に抵抗と不安を感じながら業務に取り組んでいました。そのような中、2015年10月、保健師助産師看護師法に位置づけられた特定行為に係る看護師の研修制度が新たに創設されました。資格制度が創設され、自分自身の行う行為の保証と改めて学び直すことによる知識の向上のために研修の受講は必須であると考えました。

2019年、家族と病院の協力を得て自治医科大学看護師特定行為研修センターで看護師特定行為研修を受講しました。研修では臨床における実践研修に重きを置き、多くの症例を通して様々な経験を積むことが出来ました。1年間と

いう短い研修期間でしたが、その学びが現在の特定看護師としての活動に大きく生かされているように思います。

昨年、1年間で行った特定行為は約600件（人工呼吸関連224件 長期人工呼吸療法関連5件 動脈血液ガス関連312件 栄養及び水分補正管理関連54件）主に救急外来と特定集中治療室で活動を行いました。救急外来では初めて来院される患者さんも多く、既往症などが明らかではない中で対応する場合があります。実際に動脈穿刺等の特定行為を実施して良いのか手順書に照らし合わせ、時には実施しない判断を行う場合もありました。また特定集中治療室では、人工呼吸器離脱訓練中の患者さんについて、レントゲンや検査データの結果から医師へ訓練の変更や中断、抜管延期の申し出を行ったこともあります。

特定行為は診療の補助であり、看護師が手順書に基づいて特定行



為を行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力を求められます。同時に高度かつ専門的な知識及び技能も必要です。これからも自己研鑽に励み、看護の専門性を活かしながら医師と同等の特定行為を安全に実践することにより、患者さんの重症化回避や早期回復のために尽力して行きたいと思えます。

特定行為区分：

呼吸器

（人工呼吸療法に係るもの）関連呼吸器

（長期呼吸療法に係るもの）関連動脈血液ガス分析関連

栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連



# がん診療のトピックス

## — 腫瘍内科 —



院長 三ツ木 健二

### ●はじめに

2021年4月より院長として佐世保共済病院に着任しました。着任前は九州大学病院や浜の町病院で腫瘍内科医として勤務していました。今後も院長業務と並行して腫瘍内科医として前任の二尾先生に替わり、今嶋先生と二人体制で診療していきますのでどうかよろしく願いいたします。

### ●日本のがんの現状

表1に示しますように日本でのいちばん最近のデータでは、一生のうちに男性の3人に2人、女性の2人に1人ががんに罹患し、がんはありふれた病気になっています。また、男性の4人に1人、女性の6人に1人ががんで亡くなられ、

表1 がんの統計

日本人が一生のうちにがんと診断される確率は(2018年)・・・  
 男性 65.0% (3人に2人) 女性 50.2% (2人に1人)  
 日本人ががんで死亡する確率は(2019年)・・・  
 男性 26.7% (4人に1人) 女性 17.8% (6人に1人)

がん罹患数ランキング (2018年)

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	前立腺	胃	大腸	肺	肝臓
女性	乳房	大腸	肺	胃	子宮

がん死亡数ランキング (2019年)

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房

疾患別の死因の1位となっています。部位別にみますと、男性では前立腺がん、女性では乳がんが罹患数1位となり、検診による早期発見がとても重要です。是非みなさん検診を定期的に受けるようお願いいたします。

### ●腫瘍内科とは

診療科として「腫瘍内科」を設置している病院は長崎県にはまだ少なくなじみがないと思いますので少し説明いたします。がんの治療は日本では従来から外科系の医師が手術から薬物療法まで行っているのですが、1990年代の後半から薬物療法が著しく進歩してきました。そのため、がん腫によっては抗がん薬が劇的な効果をしめすこともあり、また抗がん薬の種類も多くなり、治療がより複雑化してきました。そのため、日本では2005年から「がん薬物療法専門医」というがんの薬物療法を専門とする専門医制度ができ、毎年80～100名前後の専門医が誕生していますが、まだ大都市に集中しているのが現状です(福岡県81名、長崎県12名)。主な腫瘍内科の役割を表2に示します。当院の腫瘍内科では、消化器(胃・大腸・膵臓など)がんや原発が不明のがん、希少がん、乳がんなどの薬物療

法を専門としています。

## 表2 腫瘍内科の役割

- 1.がん患者の全身化学療法  
進行・再発がん—延命、症状の緩和、QOLの向上  
術後補助化学療法—再発予防  
術前化学療法—予後改善、ダウンスレージング、縮小手術
- 2.最新のデータに基づいた標準的治療の実践
- 3.がんの集学的治療のコーディネーター（放射線、手術）
- 4.緩和医療
- 5.セカンドオピニオンの対応

### ●薬物療法の進歩

抗がん薬といえば、吐き気が強く、髪の毛が抜け、つらいことばかりという印象をお持ちの方々も少なくないと思います。20年前までは表3に示す殺細胞性抗がん薬しかなく、確かにそのようなことがよくありましたが、今は少なくとも吐き気に対しては効果のある薬剤が使われるようになり吐いたりすることはほとんどなくなりました。残念ながら脱毛に有効な薬はまだありません。また分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬といった薬物の進歩で今まで薬が効かなかったがん腫に効くことも多くなりました。これらの薬は特徴的な副作用が出ることもありますが、患者さんの苦痛は以前よりは少なくなっただと感じています。ただ、薬の効き方や副作用にはかなり個人差がありますので、患者さんに合った治療をすることが重要です。

## 表3 がんの薬物治療

### 殺細胞性抗がん薬：

ほとんどがDNA合成と細胞周期に対して作用する

### 分子標的薬：

がん細胞で特異的に発現している、あるいは過剰発現している分子を標的とする（ピンポイント攻撃）

### 免疫チェックポイント阻害薬：

がんが免疫細胞にかけているブレーキを解除し、はたらきが弱くなったTリンパ球を再活性化して、がん細胞を攻撃する抗体薬

### ●アドバンス・ケア・プランニングについて

昔はがんの患者さんには病名や病状について

正確な説明をしないまま治療をすることがほとんどでした。今はどんな高齢の患者さんでも、医療者は病名、病状について程度の差はありますが正しい説明をしています。また、治療方針について一方的に医療者側が決定することもよくありましたが、最近は患者さんやご家族とよく相談しながら方針を決定していくようになっています。さらに表4のように、「アドバンス・ケア・プランニング」といって、将来の状態の変化に備えて患者・家族と医療者が治療の目標や療養についてあらかじめ話し合っておくということが重要と考えられています。例えば「もし、これ以上がんの積極的な治療が難しくなった時に自分がどこで誰とどのように過ごしたいか」ということを体調のよい時にあらかじめ医療者と話し合っておくと、悔いのない満足した時間が過ごせるようになることが多いです。

## 表4 アドバンス・ケア・プランニング

患者・家族のQOL向上のためには、  
将来の状態変化に備えて、  
患者・家族とケア全体の目標や  
具体的な治療・療養について  
あらかじめ話し合うことが重要



SECOMホームページより転載

### ●さいごに

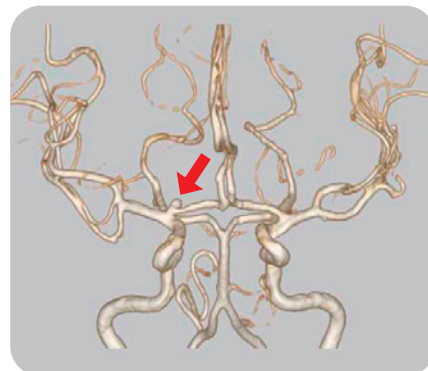
がんになると診断や治療のことだけでなく、痛みや経済的な負担、仕事のこと、また若い人では妊娠・出産のことなど様々な問題が身の回りに起こってきます。当院では、それらの問題に対して患者さん・ご家族と一緒に考えていけるような体制作りをしていきますので、是非遠慮せずスタッフにご相談ください。



脳卒中は我が国の死因別死亡率でずっと第1位でしたが、予防や治療の普及、進歩により死亡は激減しました。脳ドックは世界に先駆けて日本で1988年から始まりました。

当時の脳ドックの目的は、くも膜下出血の主な原因である「脳動脈瘤」を出血する前に発見することでした。1988年にMRIが脳

ドックの武器として登場し、危険性がほとんどないので大変ありがたい検査法です。機器の進歩が進み、現在では脳血管のきれいな画像がMRIで得られるようになりました。脳ドックが対象とする疾患も徐々に増えてきて、脳血管疾患から現在では認知症の予知、予防をも含む方向にあります。当院でも脳ドックのガイドラインに沿って診断・説明を行っています。当院では今年度からMRIが2台となりました。どうぞご利用ください。



脳血管のMRI画像  
小さな脳動脈瘤です

- 問い合わせ先  
佐世保共済病院 健診センター  
平日 14:00～17:00まで  
TEL 0956-22-6155

自分でできるエクササイズ

## 立ったままでできる肩こり体操

リハビリテーション科

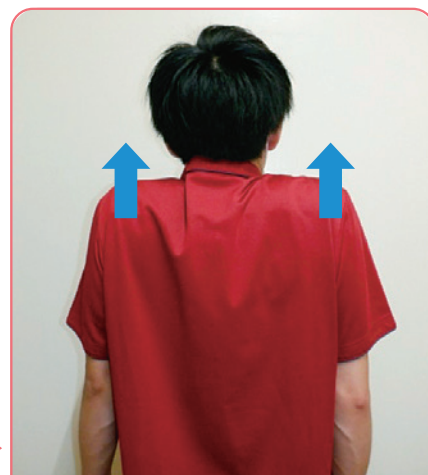
※3分間でできる簡単な運動です。※肩甲骨まわりの筋肉を動かしましょう。



- 頭は軽く下げ、背中は少し丸めます。
- 両手は腰に置き、肘は内側に向け、左右の肩甲骨を離します。
- その姿勢を5秒間キープし、ゆっくり姿勢を戻します。



- 胸を張ります。
- 両手は腰に置き、肘は外側に向け、左右の肩甲骨を寄せます。
- その姿勢を5秒間キープし、ゆっくり姿勢を戻します。



- 両肩を耳の方に近づけ、すくませます。
- その姿勢を5秒間キープし、すばやく脱力し、姿勢を戻します。

※体操は各10回ずつ行い、1日2～3回行ってください。

※痛みが出る場合や手や腕にしびれが出る場合は、体操を中止してください。





医療とは別の新しいことへ挑戦していきたくて考えています。今後ともよろしくお願ひいたします。

- 当院は予約制です  
より便利にご利用いただける、WEB予約システムを導入しています  
(tsukiyama-obgyn.com)

## 医療法人TOG つきやま産婦人科

〒857-0805 佐世保市光月町1-23 TEL0956-22-5913

院長 築山 尚史 先生

院長の築山尚史です。当院は2018年に開院した産婦人科診療所で、現在、私の他に2名の非常勤医師が勤務しています。患者さんの気持ちを大切に、エビデンスに基づいた医療の提供を行うよう、心がけています。患者さんの多くは産科の方ですが、婦人科症例にも対応しています。

全国的に分娩を扱う産婦人科

施設が減少し、佐世保市も例外ではありません。今後、安定した産婦人科の医療を提供するためにも、残された数少ない周囲の施設と協調していくことが必要と考えています。また、私自身も

スタッフのみなさん



前列左から4番目が築山院長

### 院内“FreeWi-Fi”整備完了

## Wi-Fi つかえるようになりました

経営企画課 課長 山元 純一

当院では2021年4月よりFreeWi-Fi環境を整備いたしました。

患者様からいただくご意見の中にもWi-Fi環境整備を熱望する声が多く念願の導入となりました。SSIDとパスワードまた通信方法は院内各所に掲示しており、セキュリティー対策のための認証作業を経た後、安心かつ無料でご利用いただくことができます。

“#病室Wi-Fi協議会”が全国調査している「全病室で無料Wi-Fiが使える病院」にも早速投稿させていただきました。

猛威を振るい未だ収束が見えないコロナ禍において、人と人が直接対面できる機会が減っておりますが、これを補うためのオンライン診療または入院患者様のご家族とのテレビ電話など、様々な方面で活用しております。

ネット環境が充実することで、希薄になりがちな人の繋がりが豊かなものになり、少しでも患者様の大切な時間の充実に役立てることを願っております。是非ご活用いただきたいと思います。



### 編集 後記

今年もあと約2ヶ月と昨年同様新型コロナウイルスに振り回される1年となりました。最近子どもたちと一緒にDIYに挑戦するなど、自宅での生活を満喫できるよう工夫しております。

編集委員 永田 敬博

# 外来診療担当表

令和3年10月1日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
腎臓内科	部長	福成 健一	●						●				腎臓疾患・人工腎臓
	医長	金谷 晶子			●			●					腎臓疾患
	医員	末永 敦彦	●						●				腎臓疾患
	〃	橋本 優香						●			●		腎臓疾患
循環器内科	部長	金谷 誠司						●	●				循環器疾患
	医員	江藤 和子	●						●				循環器疾患
	非常勤	田渕くみ子									●		循環器疾患
	〃	横山 晋二						●					循環器疾患
	〃	熊埜御堂 淳										●	循環器疾患
呼吸器内科	非常勤	秦 兼太郎						●					呼吸器疾患
	〃	安藤 裕之									●		呼吸器疾患
糖尿病内科	非常勤	安西 慶三			●								毎週火曜日 9時～12時
	〃	尾崎 方子									※		※第1・3週
消化器内科	部長	河野 健次			※				●				肝臓疾患、糖尿病 ※第2・4週
	非常勤	藤松 雅彦							■				消化器内科
	〃	白 晁鵬				●							消化器内科 毎週火曜日
腫瘍内科	院長	三ツ木 健二	◆		◆			●	●		●		1. 消化器がん 2. 乳がん 3. 原発不明癌 4. 肉腫 その他
	医員	今嶋 堯志	●		●				■				
外科	副院長	井原 司						●	●				消化器外科・肝胆膵外科・内視鏡下外科・一般外科
	乳腺外科部長	原田 洋			●								乳腺外科・一般外科
	消化器外科部長	富崎 真一	●		●		●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科
	肝胆膵外科部長	丸山 祐一郎	●						●		●		消化器外科・肝胆膵外科・一般外科
	医員	藤崎 正寛			●						●		消化器外科・一般外科
	〃	川本 祐輔					●		●				一般外科
	非常勤	川畑 方博							※				肝胆膵外科・消化器外科・一般外科 ※第1・3・5週
乳腺外来			■		■		■				■		※乳癌検診は、10時までに受付を行って下さい(要予約)
小児科	部長	上玉利 彰	●		●		■		●				小児血液、小児がん、小児一般
	アレルギー科部長	合田 裕治	■		■		■		■	■	■		小児アレルギー疾患、食物アレルギー、小児一般、気管支喘息
	医長	金城 勤也			●		●		●		●		小児一般
	顧問	岡 尚記	■				■	■	■	■	■		小児アレルギー疾患、気管支喘息、小児一般
	乳児健診					●							火曜 13時から診察開始 13時までに受付を行って下さい
	慢性外来								■				水曜 14時から診察開始
脳神経外科	部長	山川 勇造		●				●	●	●	●		脳神経外科一般 13時30分から診察開始 16時までに受付を行って下さい
		応援医師			●								
整形外科	部長	水城 安尋			●			●			●		上肢の外科(肩肘手)、足部外科、スポーツ障害
	医長	内村 大輝			●				●		●		上肢の外科(肩肘手)、スポーツ障害
	〃	上田 幸輝	●					●			●		膝・肩関節疾患、腫瘍
	〃	伊東 孝浩	●					●		●			膝・股関節疾患
	〃	千住 隆博	●		●				●				股関節疾患、上肢の外科(肩肘手)
	医員	石田 彩乃	●						●				整形外科一般
	〃	青木 勇樹			●						●		整形外科一般
泌尿器科	部長	中村 貴生	▲		■		■		■				泌尿器疾患 ▲月1回奇数週(第1又は第3週)
	医長	丸田 大	▲		■				■		■		▲第2、第4週
	医員	左川 遼	■				■				■		
	部長	鶴田 伸宏	●		▲		●		●				産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患
産婦人科	周産期部長	木下 秀一郎			●		●		▲		●		腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患
	医員	伊奥田 彩	●		●		▲				●		●：婦人科診察日 ▲：産科診察日
	〃	末永 美祐子	▲		●				●		●		
	〃	永井 亜佑実	●				●		●		▲		
眼科	医員	伊崎 亮介	■		■	※	■	※	■		■	※	白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、翼状片手術、レーザー光凝固術
	※：火・水・金曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)												
放射線科	部長	野々下 政昭	※検査・画像診断についての申し込み・問合せは、										MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査
	放射線検査科部長	川原 康弘	外来までお電話下さい。										
	医員	古賀 亜紀子											
耳鼻咽喉科	医長	吉田 崇正	■		■		■		■		■		鼻科・耳科疾患、聴覚疾患、耳鼻咽喉科一般
	医員	斉藤 あゆみ	■		■		■		■		■		
麻酔科	診療部長	深野 拓			■		■		■		■		月～金午前：ペイン・緩和ケア・術前外来
	医長	松永 祥志	■		■		■		■		■		月～金午後：手術麻酔
	〃	木本 文子	■		■		■		■		■		
	非常勤	別府 幸岐	■		■		■		■		■		
ペインクリニック	部長	境 徹也	■		■		■		■		■		月～金午後は手術麻酔 受診等の問合せは、直接外来までお電話下さい。
	顧問	井関 充及											細胞診断・病理組織診断全般
歯科口腔外科	部長	窪田 泰孝	●	■	●	■	●	■	●	■	●	■	歯科口腔外科、インプラント、顎顔面外傷、口腔腫瘍、顎関節症
	医員	今利 一寿	●	■	●	■	●	■	●	■	●	■	歯性感染症など
	非常勤	木附 智子					■	■					
健診センター	健診センター長	佐藤 浩信	※申し込み・問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。健診センター直通電話 0956-22-6155										
	医員	原 敬一											

●：診療日 ■：予約のみ ◆：新患のみ